保 証 書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	DRY-AS400WGc,DRY-AS400WGd
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） **お買い上げの日から1年**
お客様 お名前	様
お客様 ご住所	〒 TEL（ ）
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）同梱品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1855-C

Yupiteru

カメラー体型ドライブレコーダー

DRY-AS400WGc
DRY-AS400WGd

取扱説明書

12V車専用

ACTIVE SAFETY model
Active Safety 機能を有効にするには・・・（☛P.47）

Start information 搭載 ☛P.23
前の車がスタートしたのをお知らせ！

レーンキープアシスト搭載 ☛P.24
車線からのはみ出しをお知らせ！

前方衝突防止アラート搭載 ☛P.24
前の車との接近をお知らせ！

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、同梱品の microSD カードに動画を常時録画します。

⚠注 意

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源を OFF にしてから microSD カードを抜いて保管してください。
- 電源が ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

ご注意

SDカードは、1～2週間に一度フォーマットが必要です。

SDカードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。
安定してお使いいただくために、1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行うことをお勧めします。

18ページ すぐに使う

26ページ SDカードをフォーマットする

おすすめピックアップ

47ページ Gセンサー感度を変更する

51ページ 専用ビューアソフトの使い方

61ページ こんなときは

17ページ 事故が発生したらどうするの？

確認とご注意

すぐに使う

基礎知識

カスタマイズして使う

再生する

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

⚠警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。
＜異常な状態の例＞
- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛P.67「アフターサービス」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。**
感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**
変色や変形、故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所
- ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**
破裂、発火や火傷の原因となります。

🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**
感電や故障の原因となります。

🚫 **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

🚫 **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**
爆発や火災の原因となります。

⚠ **SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

🚫 **結露したまま使い続けないでください。**
故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

🚫 **落としたり、強いショックを与えないでください。**
破損、故障の原因となります。

🚫 **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**
故障の原因となります。

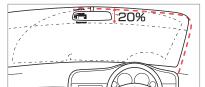
🚫 **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。

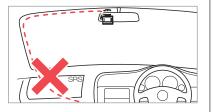
🚫 **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**
故障の原因となります。

⚠ **本機は精密機械です。**
静電気 / 電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠ 警告

❗ **取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**

❗ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

🚫 **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠ 注意

❗ **取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠ 警 告

電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使ってください。

タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

交換ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

⚠ 注 意

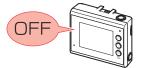
エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

● SDカードについて

⚠ 警 告

SD カードの出し入れは、本機の電源が ON になっていないことを確認して行ってください。

SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。

● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危 険

リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。

リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。

リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⊘ **リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。**

熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

⊘ **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**

リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

⊘ **リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。**

リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

⊘ **リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。**

放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警 告

❗ **充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。**

リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

❗ **リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。**

液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注 意

❗ **リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。**
充電：0℃～ +45℃

リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

❗ **リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

❗ **お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。**

❗ **リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。**

⊘ **濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。**

故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⊘ **濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。**

感電の原因となることがあります。

⊘ **通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。**

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

⊘ **直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。**

液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- Active Safety 機能を正常に機能させたり、映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録（手動録画）するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  ※長期間使用しなかった場合。
  ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ（2A）と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 電源直結コードに関する注意

- 電源直結コードは、必ず同梱品をご使用ください。
- 電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ（2A）と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ SDカードに関する注意

- SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

■ GPS測位に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 液晶パネル部に関する注意

- 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
- 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

リチウムイオン電池はリサイクルへ

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

各部の名称と働き

■ 本体

本体のみではGPS測位ができません。
必ずGPS内蔵ブラケットを接続してください。

正面

電源ボタン
短押しで電源をON、長押しで電源をOFFします。

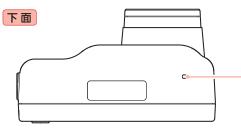
ジョイントレール
同梱品のGPS内蔵ブラケットを取り付けます。

DCジャック（DC5V）
同梱品のGPS内蔵ブラケットのコネクタを接続します。（☛P.21）

HD out端子
市販品のケーブルを接続すると、接続先に再生モードを表示し、本機から操作を行うことで記録した映像と音声を再生できます。（☛P.59）
※ケーブル接続中は再生モードになり、接続しながら録画することはできません。

スピーカー
録画ファイルの音声が出ます。

レンズ
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時に剥がしてください。

下面

リセットボタン
本機をリセットし、システムを再起動します。（☛P.62）

背面

フルカラーTFT液晶ディスプレイ2.0インチ
各設定画面を表示したり、記録中の映像や、記録後の映像を確認できます。

microSDカード挿入口
microSDカードを挿入します。（☛P.15）

電源ランプ（赤、緑）
本機の動作状態をランプでお知らせします。（☛P.25）

RECボタン
常時録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。（☛P.43）

操作ボタン
本機の操作・設定などを行います。

マイク
周囲の音を収集します。

1. 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

■ GPS 内蔵ブラケット ･･････････1

■ microSD カード(8GB) ･･･････1
（本機にあらかじめ装着されています。）

■ 専用ビューアソフト ･･･････････1
（同梱品の microSD カード内に収納）

■ 両面テープ ･･･････････････････1

■ 取扱説明書・保証書(本書) ･････1

< DRY-AS400WGc >

■ 5V コンバーター付シガープラグコード(約 4 m) ････････････････1

< DRY-AS400WGd >

■ 5V コンバーター付電源直結コード(約 4 m) ･････････････････････1

・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

■ 専用ビューアソフトについて

・GPS から取得した位置情報と撮影した映像を連動してご覧になれる専用ビューアソフトを同梱しています。
・専用ビューアソフトは、同梱品の microSD カード内に収納されています。誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.yupiteru.co.jp/

2. 別売品

■ AC アダプター　OP-E368
本体 3,000 円 + 税
ご家庭で使用することができます。

※ 同梱品と別売品の追加購入につきましては、☛ P.65 をご覧ください。

充電について

1. 内蔵電池を充電する

充電温度範囲 0℃～＋ 45℃　過充電防止回路付

■ 車両から充電する

同梱品のシガープラグコードまたは電源直結コードを本機に接続された GPS 内蔵ブラケットと接続し(☛ P.21「電源を接続する」)、電源が供給されると充電が行われます。

約３時間で満充電になります。

※ 充電可能温度範囲は、0℃～＋ 45℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。その場合は、別売品の AC アダプター(OP-E368)を使用し、室内での充電をお勧めします。

■ 別売品の AC アダプター(OP-E368)を使用する

別売品の AC アダプター (OP-E368) を AC100V コンセントに差し込むことで充電を行います。(☛ P.12「別売品」)

約３時間で満充電になります。

2. 電池残量アイコンについて

電源 ON 時に、動画記録モード画面(☛ P.50「動画記録モード」)右下に次のように電池の状態を表示します。

電池の状態	電池残量が多い（満充電）	少なくなっている	ほとんど残っていない	充電が必要	充電中
アイコン	緑	緑２個	緑１個	灰色	全てのアイコンを順番に表示

■ 使用時間の目安

満充電の状態で録画を行った場合、約 20 分使用できます。

※ 設定や動作条件によっては、使用時間が短くなる場合があります。

※ 内蔵電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

3. 内蔵電池のみで使用する

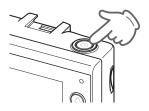
3-1 電源ボタンを短押しする

電源が ON になります。

※ 電源が ON にならないときは充電してください。
☛ P.13「内蔵電池を充電する」

4. 手動で電源を OFF にする

4-1 電源ボタンを長押しする

録画ファイルを保存して、電源が OFF になります。

SD カードの取り外し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※ 本機は、8GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。（SD スピードクラス「Class10」以上）

⚠注 意

- 電源を OFF（電源ランプ消灯）にしてから行ってください。
- SD カードは一方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 同梱品以外の SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SD カードを本機から取り外す

1-1 電源を OFF にする

電源 OFF は、車両のエンジンを切るか、電源ボタンを長押しします。

・電源 OFF 後は、電源ランプ (☛ P.25) の消灯を確認してください。

1-2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。SD カードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SD カードを本機へ装着する

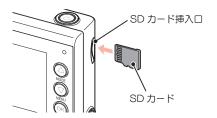
2-1 電源を OFF にする

電源 OFF は、車両のエンジンを切るか、電源ボタンを長押しします。

■ 車両のエンジンを切る　　または　　■ 電源ボタンを長押しする

・電源 OFF 後は、電源ランプ (☛ P.25) の消灯を確認してください。

2-2 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず SD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

ＳＤカードの保管

1 イベント記録アイコンが表示されていないことを確認する

イベント記録アイコン

※ イベント記録アイコン表示中に電源 OFF した場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合がありますが、再度電源 ON すると修復されます。詳細は、 ☛ P.43 を参照してください。

※ 電源 OFF したときに、他の SD カードに入れ替えないでください。修復ができなくなる場合があります。

2 本機を電源 OFF する

エンジンキーを OFF にし、本機を電源 OFF します。

電源 OFF 後、ランプが 3 秒以上消灯したことを確認します。

3 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

4 SD カードを保管する

・保管場所について…

SD カードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。

〈静電気・ノイズ〉　〈水・湿気〉

〈衝撃・曲げ・折り〉　〈腐食性ガス〉

※ 事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

こんなときに録画ファイルが役立ちます

赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

・フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。

・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。

・視界の妨げにならないように取り付けてください。

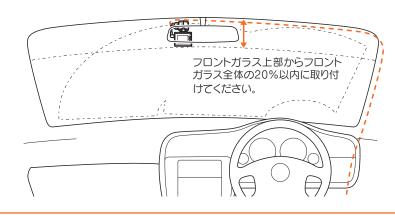
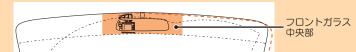
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。

・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。

・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。

・フロントウィンドウ縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。

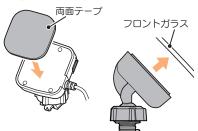
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。

・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。

■ Start information 使用時の取り付け位置について

本機は、フロントガラスの中央部に取り付けてください。

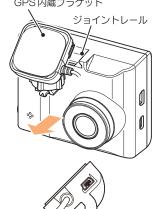
※ Start information は、前方の車両を認識してお知らせを行います。前方車両を正しく認識できない位置に本機を取り付けると、Start information がうまく働かない場合があります。

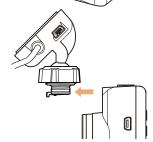
1. 本機を取り付ける

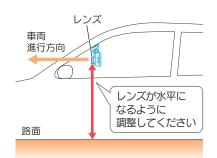
あらかじめ、GPS 内蔵ブラケットやフロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

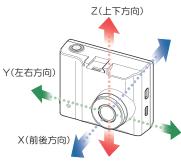
1-1 GPS 内蔵ブラケットに同梱品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。

※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

1-2 GPS 内蔵ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて、本体を GPS 内蔵ブラケットに装着する

※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

※ 奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。

1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する

※ カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

・G センサーの X（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は、レンズの向きが車両進行方向と水平の状態で固定されています。

・G センサーの数値について

・G センサー記録とは・・・
☛ P.43「イベント記録」

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、G センサー記録が誤って動作することがあります。

1-4 ナットを締めて固定する

※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。
※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。GPS 内蔵ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

1-5 GPS 内蔵ブラケットのコネクタを本体の DC ジャックに接続する

コネクタを接続しないと、GPS 測位ができません。

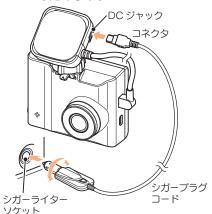
■ 取り外し方法

① コネクタを取り外します。
② GPS 内蔵ブラケットのロック解除レバーを持ち上げます。
③ 本機を矢印の方向へスライドさせます。

2. 電源を接続する

< DRY-AS400WGc の場合>

2-1 シガープラグコードを接続する

同梱品のシガープラグコードを GPS 内蔵ブラケットの DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※ 同梱品のシガープラグコード、または別売品の AC アダプター（☛ P.12「別売品」）をご使用ください。

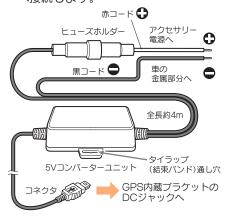
※ シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。
誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。
うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

< DRY-AS400WGd の場合 >

⚠注 意

赤コード (+) は、必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリー電源に接続してください。

2-1 電源直結コードを接続する

同梱品の電源直結コードを GPS 内蔵ブラケットの DC ジャックと車両へ接続します。

※ 同梱品の電源直結コード、または別売品の AC アダプター（☛ P.12「別売品」）をご使用ください。

※ 作業中のショート事故防止のため、車両へ接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ず外してから作業してください。

※ 電源は DC12V（マイナスアース）車専用です。24V 車ではご使用いただけません。

※ 電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品のタイラップ（結束バンド）や両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

次のような場所への 5V コンバーターユニットの固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。

※ 取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

Active Safety（アクティブ セーフティ）機能について

Active Safety 機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的としています。事故を未然に防ぐものではありません。

※ 解像度が「1080P HD (HDR) 30FPS」（初期値）または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効になります。（☛ P.47）
※ Active Safety 機能は、動画記録モード時（画面 OFF 時も含めた録画中と録画停止中）にお知らせを行います。再生モード時や設定メニュー時は、お知らせを行いません。
※ Active Safety 機能の画面表示は、録画ファイルには録画されません。ブザー音は、「音量：20 ～ 100%、音声録音：ON」設定時に音声として録画ファイルに録画されます。

注 意

・Active Safety 機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
・運転時は、先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。

1. Start information（スタート インフォメーション）

信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合や渋滞中に自車が先行車により近づいた場合に表示とブザー音でお知らせします。

※ 設定で Start information の ON/OFF を変更できます。（初期値：ON）☛ P.47「設定メニュー」

・信号待ちなどで、先行車のうしろで自車が停止した状態

・先行車との距離や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 前方の車両を認識してお知らせを行います。先行車を認識できない位置に本機を取り付けると、うまく働かない場合があります。（☛ P.18「Start information 使用時の取付け位置について」）

2. レーンキープアシスト

走行中に自車の車線逸脱（走行車線からのはみ出し）を検知すると、表示とブザー音でお知らせします。

※ レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。（☛ P.27「レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う」）
※ 設定でレーンキープアシストの ON/OFF を変更できます。（初期値：ON）☛ P.47「設定メニュー」

画面表示とブザー音でお知らせ

『ピピッ』というブザー音が鳴り、下記の画面を約５秒間表示します。

※音量を OFF にした場合は、ブザー音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

- GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は、機能しません。
- 車両速度が時速 60km 以上の場合に動作します。
- 車線の種類、車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
  ※ 白色または黄色の直線や破線以外の形状の車線は認識できない場合があります。
  ※ 積雪などで車線を検知できない場合は機能しません。
- 車両のウインカーと連動していないため、車線変更時にもお知らせを行います。

3. 前方衝突防止アラート

走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示とブザーでお知らせします。

※ レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。（☛ P.27「レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う」）
※ 設定で前方衝突防止アラートの ON/OFF を変更できます。（初期値：ON）☛ P.47「設定メニュー」

・先行車と自車が接近

画面表示とブザー音でお知らせ

『ピピッ』というブザー音が鳴り、下記の画面を約５秒間表示します。

※音量を OFF にした場合は、ブザー音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

- GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は、機能しません。
- 車両速度が時速 60km 以上の場合に動作します。
  ※ GPS データによる車速は、実際の走行速度と最大で 1 秒程度のずれが生じます。衝突の恐れが減少した場合でもお知らせする場合があります。
- 画像処理によって先行車を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、先行車の形状や車線幅、周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 車線変更時は、先行車を検知しないため、先行車と接近しすぎた場合でも、前方衝突防止アラートは働きません。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期設定のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON → 録画の開始 1 → 録画の停止 2 → フォーマット※ 3 → AS 設定 4 → 録画の再開 5 → 録画 → 録画の停止 6 → エンジン OFF

※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON（録画を開始する）

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。（初期設定時）

1 - 1 SD カードが挿入されていることを確認する

・SD カードが挿入されていないときは…
電源が OFF であること（電源ランプ消灯）を確認して、SD カードを挿入してください。
☛ P.15「SD カードの取り外し / 装着」

1 - 2 車両のエンジンを始動する

電源ランプ（赤）と録画アイコンが点灯し、録画を開始します。

GPS を測位すると、アイコンを表示し、GPS 情報を取得します。

・自動録画を OFF にできます。
☛ P.47「設定メニュー」

※ GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※ GPS の測位に失敗すると、アイコンを表示します。

・電源ランプの色について

電源ランプの状態	本機の動作
赤色の点灯	録画中
赤色の点滅	「SD カードがいっぱいです」警告表示時
緑色の点灯	録画以外の動作

- **GPS 測位について・・・**
  購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で 10 分～ 20 分程度通電状態にし、GPS の電波を受信（測位）させます。
  ※内蔵電池のみで使用する場合は GPS 機能が働きません。
- **GPS が測位できない場合…**
  同梱品の GPS 内蔵ブラケットが、本体の DC ジャックに正しく接続されているか確認してください。（☛ P.21「手順 1-5」）

2. 録画を停止する

2-1 OK ボタンを押す

録画を停止します。

※ 録画停止中は、電源ランプ（緑）が点灯し、録画アイコンの表示が消えます。

3. SD カードをフォーマットする

１～２週間に一度、フォーマットを行ってください。

※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」や「専用ビューアソフト」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

- **録画ファイルのバックアップ**… ☛ P.54「録画ファイルの読み出しについて」
- **専用ビューアソフトのバックアップ**… ☛ P.38「専用ビューアソフトをバックアップ（コピー）する」

※ 専用ビューアソフトを削除した場合、弊社ホームページよりダウンロードできます。

3-1 ▽ボタンを押す

設定メニューを表示します。

<設定メニュー>

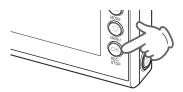
- **録画中は設定メニューの表示ができません。**
  録画の停止は、 ☛ P.26「手順 2」
- **設定メニューの詳しい使い方は…**
  ☛ P.47「設定メニュー」

3-2 ▽ボタンを押して、「SD 初期化」を選択し、OK ボタンを押す

3-3 ▽ボタンを押して「実行」を選択し、OK ボタンを押す

※［キャンセル］を選択して OK ボタンを押すと、フォーマットを中止します。

3-4 「SD カードの初期化が完了しました」と表示していることを確認し、OK ボタンを押す

設定メニューを表示します。

- 「SD カードの初期化に失敗しました」と表示する場合 ･･･
  ☛ P.63「エラー表示一覧」

4. レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、本機にて設定が必要です。

※ 設定を行わずに使用すると、うまく動かない場合があります。

⚠注 意

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定は、安全な場所で行ってください。また、なるべく平坦な場所で行ってください。

4-1 △ボタンを押して、「AS 設定」を選択し、OK ボタンを押す

すぐに使う

4-2 △▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の左右位置を合わせ、OK ボタンを押す

＜ AS 左右設定画面＞

※ 画面右のボタン表示は数秒間表示後消えます。

・AS 左右設定画面のボタンの機能

ボタン	機能
△	画面内の白線が左へ移動します。
▽	画面内の白線が右へ移動します。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

4-3 △▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の上下位置を合わせ、OK ボタンを押す

＜ AS 上下設定画面＞

・AS 上下設定画面のボタンの機能

ボタン	機能
△	画面内の白線が上へ移動します。
▽	画面内の白線が下へ移動します。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

4-4 △▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の幅を合わせる

＜ AS 車幅設定画面＞

・AS 車幅設定画面のボタンの機能

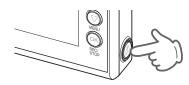
ボタン	機能
△	画面内の白線の幅を広くします。
▽	画面内の白線の幅を狭くします。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

・画面内の白線と道路の白線が合わない場合…
P.28 の「手順 4-2」から「手順 4-4」を何度か繰り返し、白線の位置を調整します。

・良い見本
道路上の白線と本機画面内の白線が重なっている

・悪い見本
道路上の白線と本機画面内の白線がずれている

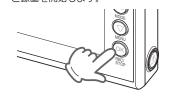
4-5 REC ボタンを押す

設定メニュー画面を表示します。

5. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

5-1 REC ボタンを押す

動画記録モードを表示し､自動的に録画を開始します。(初期値 : 自動録画 ON)

・自動録画を OFF にしている場合 ･･･
動画記録モード時に OK ボタンを押すと録画を開始します。

6. 電源 OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

6-1 車両のエンジンを切る

録画が停止し、電源が OFF になります。

録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。
保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 保護した録画ファイルは、フォーマット（☛ P.26）することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ（☛ P.54「録画ファイルの読み出しについて」）などしてからフォーマットしてください。

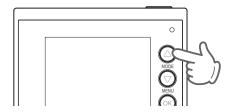
⚠注 意

初期設定では、保護していない録画ファイルは、各記録方法の上限に達すると、上書きされます。（初期設定「上書きモード：全て上書き」）

1. 録画ファイルを保護する

1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、録画ファイルの保護ができません。

1-2 △ボタンを押す

フォルダ選択画面を表示します。

1-3 △▽ボタンを押して、保護したい録画ファイルの記録方法を選択し、ＯＫボタンを押す

ファイル選択画面を表示します。

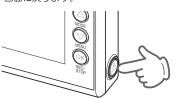
＜フォルダ選択画面＞

・常時録画とは・・・☛ P.42
・G センサー記録とは・・・☛ P.43
・ワンタッチ記録とは・・・☛ P.43

1-4 △▽ボタンを押して、保護したい録画ファイルを選択し、ＯＫボタンを押す

録画ファイルが再生します。

＜ファイル選択画面＞

・ひとつ前の画面に戻るには・・・
ファイル選択画面やファイル再生画面時に REC ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

1-5 OK ボタンを押す

録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。

＜ファイル再生画面＞

・ファイル再生画面の詳しい使いかたは・・・
☛ P.59「再生モード」

1-6 △ボタンを押す

表示中の録画ファイルを保護します。保護が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

ファイルがすでに保護してある場合、「保護解除アイコンを表示します。

※ 保護したファイルは、ファイル選択画面上でアイコンを表示します。

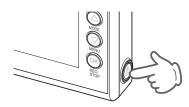
＜ファイル選択画面＞

保護を解除する場合は、手順 1-4 ～ 1-6 を繰り返します。
保護を解除すると、ファイル選択画面上の アイコンの表示が消えます。

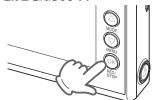
2. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

2-1 REC ボタンを押す

フォルダ選択画面へ戻ります。

2-2 REC ボタンを押す

動画記録モードを表示し､自動的に録画を開始します。(初期値：自動録画 ON)

・**自動録画を OFF にしている場合・・・**
動画記録モード時に OK ボタンを押すと録画を開始します。

> 保護したファイルで SD カードがいっぱいになると、本機の記録が停止します。
> 必要に応じて録画ファイルをバックアップなどしてから､本機で SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)

初期設定について

本機の初期設定は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
解像度	1080P HD(HDR) 30FPS	1920 × 1080、30 コマ / 秒、HDR 有効で録画します。
自動録画	ON	エンジンキー連動で録画を開始します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
G センサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、G センサー記録を行います。(☛ P.43「G センサー記録」)
G センサー感度 (X)	1.5G	X(前後方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
G センサー感度 (Y)	1.5G	Y(左右方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
G センサー感度 (Z)	1.5G	Z(上下方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
レーンキープアシスト	ON	走行中に自車の車線逸脱（走行車線からのはみ出し）を検知すると、表示とブザー音でお知らせします。(☛ P.24「レーンキープアシスト」)
前方衝突防止アラート	ON	走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示とブザー音でお知らせします。(☛ P.24「前方衝突防止アラート」)
上書きモード	全て上書き	常時録画・・・ SD カード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(☛ P.66「録画時間の目安」) イベント記録・・・ 最大記録件数に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(☛ P.43「イベント記録」)
Start information	ON	信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示とブザー音でお知らせします。(☛ P.23「Start information」)
音量	100%	録画ファイルの再生音量、操作音やブザー音の音量を 100%に設定しています。
画面自動オフ	常時 ON	画面は常に ON の状態です。

※ 初期設定を変更する場合は、 ☛ P.46 ～ 48「カスタマイズして使う」を参照してください。

すぐに使う

すぐに使う

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、GoogleMap と連動させて表示することが出来ます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

以下の仕様を満たしたパソコンで専用ビューアソフトを使用することができます。

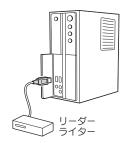
OS : Microsoft Windows 7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.yupiteru.co.jp/
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

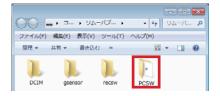
2. 専用ビューアソフトをインストールする

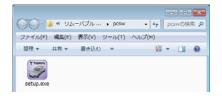
⚠注 意

パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

2-1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

2-2 本機から取り出した SD カードをリーダーライターに接続する

2-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW] フォルダをダブルクリックする

※ SD カードのフォーマットを行った場合、「PCSW」フォルダも削除されます。弊社ホームページよりダウンロードすることができます。
http://www.yupiteru.co.jp/

2-4 [setup.exe] をダブルクリックする

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。

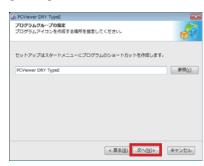
2-5 [次へ] をクリックする

すぐに使う

2-6 「同意する」をクリックする

2-7 ［次へ］をクリックする

※「参照」をクリックすると、インストール先を指定できます。

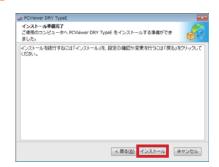
2-8 ［次へ］をクリックする

※「参照」をクリックすると、プログラムアイコンを作成する場所を指定できます。

2-9 「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れ、［次へ］をクリックする

※チェックを入れると、デスクトップ上にアイコンを作成します。

2-10 ［インストール］をクリックする

2-11 ［完了］をクリックする

すぐに使う

3. 専用ビューアソフトをバックアップ(コピー)する

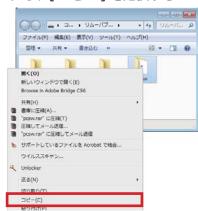
専用ビューアソフトは同梱品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをお勧めします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合 ･･･

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

3-2 本機から取り出した SD カードをリーダーライターに接続する

3-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW] フォルダ上で右クリックし、[コピー] を選択する

3-4 デスクトップ上で右クリックし、[貼り付け] を選択する

デスクトップに [PCSW] のフォルダがコピーされます。

4. 専用ビューアソフトを起動する

4-1 デスクトップにある[PC Viewer DRY-TypeE] アイコンをクリックする

専用ビューアソフトが起動します。

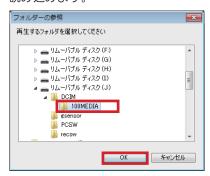
※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。
☛ P.37「手順 2-9」

・専用ビューアソフトの詳細は ･･･
☛ P.51「専用ビューアソフト」

5. 録画ファイルを再生する

5-1 (フォルダを再生リストに読込)をクリックする

5-2 接続した SD カードの再生したいフォルダを選択し、[OK] をクリックする

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

・フォルダ名について

常時録画･･･「DCIM」→「100MEDIA」フォルダ

G センサー記録･･･「gsensor」フォルダ

ワンタッチ記録･･･「recsw」フォルダ

※ 常時録画は「100MEDIA」フォルダを選択してください。「DCIM」フォルダを選択しても録画ファイルを読み込むことができません。

5-3 再生したい録画ファイルをダブルクリックする

選択した録画ファイルが再生します。

・専用ビューアソフトの詳細は･･･

☛ P.51「専用ビューアソフト」

6. 専用ビューアソフトを終了する

6-1 専用ビューアソフト右上の をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1 ～ 2 週間に一度のメンテナンス

⚠注 意

1～2週間に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

・SD カードのフォーマット

SD カードは、長期間使用することにより、不良セクタが発生します。不良セクタには書き込みをすることができず、SD カードへの書き込みが不安定になる場合があります。１～２週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。（☛ P.26「SD カードをフォーマットする」）

■ 必要に応じてメンテナンス

・ヒューズの交換

< DRY-AS400WGc の場合>

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない（シガープラグコードのランプが点灯しない）場合は、シガープラグコードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。

① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す

ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める

< DRY-AS400WGd の場合>

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない場合は、電源直結コードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。

① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。

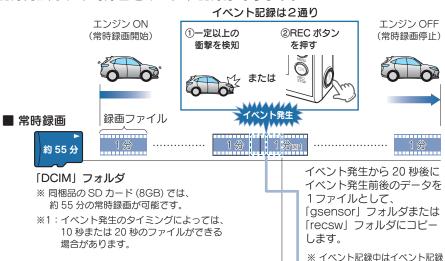
■ 常時録画

約 55 分

「DCIM」フォルダ

※ 同梱品の SD カード (8GB) では、約 55 分の常時録画が可能です。

※1：イベント発生のタイミングによっては、10 秒または 20 秒のファイルができる場合があります。

イベント発生から 20 秒後にイベント発生前後のデータを 1 ファイルとして、「gsensor」フォルダまたは「recsw」フォルダにコピーします。

※ イベント記録中はイベント記録アイコンが点灯し、電源ボタン以外の操作ができません。

■ イベント記録

40 秒の録画ファイルが生成されます。

「gsensor」フォルダ･･･G センサー記録
「recsw」フォルダ･･･ワンタッチ記録

※ 同梱品の SD カード (8GB) では、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせて 8 件のイベント記録が可能です。

1. 常時録画

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの映像を SD カードに常時録画します。

※「自動録画」の設定で、ON/OFF が可能です。（☛ P.47）

・**録画ファイル構成**
1 ファイルあたり約 1 分で生成します。

・**録画可能時間**
初期設定（1080P HD(HDR) 30FPS）で、同梱品の SD カード（8GB）に約 55 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。（☛ P.66「録画時間の目安」）

・**上書きモード**
初期設定では「上書きモード」が「全て上書き」のため、55 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。（☛ P.44「上書きモードについて」）

2. イベント記録（G センサー記録とワンタッチ記録）

イベント記録には、G センサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示します。

※ イベント記録アイコン表示中に電源 OFF した場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合がありますが、再度電源 ON すると修復されます。

※ イベント発生から 20 秒後に、SD カードへイベント記録ファイルのコピーを開始します。

※ 電源 OFF したときに、他の SD カードに入れ替えないでください。修復ができなくなる可能性があります。

・**録画ファイル構成**
1 ファイルあたり約 40 秒（イベント発生前 20 秒とイベント発生後 20 秒）で生成します。

・**最大記録件数**
同梱品の SD カード（8GB）に、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせて 8 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量によって最大記録件数は異なります。（☛ P.66「イベント記録の最大記録件数」）

・**上書きモード**
初期設定では「上書きモード」が「全て上書き」のため、記録件数が 8 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。（☛ P.44「上書きモードについて」）

■ G センサー記録

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、1 ファイル単位の映像を SD カードの「gsensor」フォルダにコピーします。

※ 初期値では「G センサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。（☛ P.47「設定メニュー」）

・**G センサー感度**
G センサーの感度を設定することができます。初期値では、X（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は全て「1.5G」となります。（☛ P.47「設定メニュー」）

一定以上の衝撃を検知

イベント記録アイコン

■ ワンタッチ記録（手動録画）

常時録画中に REC ボタンを押すと、1 ファイル単位の映像を SD カードの「recsw」フォルダにコピーします。

⚠注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.47「設定メニュー」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 **(初期値)**	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※1：保護したファイル (☛ P.30「録画ファイルを保護する」)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)

■上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画が SD カード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録も記録件数にかかわりなく記録を停止します。

※ イベント記録は、常時録画をコピーした録画ファイルです。

※2：ブザー音は警告表示の開始時に数秒間鳴ります。音量を「OFF」に設定している場合は、ブザー音は鳴りません。

■常時録画上書き※1

常時録画は、SD カード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。

※2：ブザー音は警告表示の開始時に数秒間鳴ります。音量を「OFF」に設定している場合は、ブザー音は鳴りません。

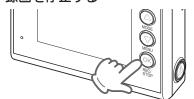
■全て上書き(初期値)※1

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

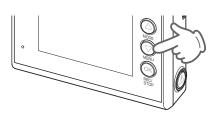
※1：保護したファイル (☛ P.30「録画ファイルを保護する」)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、設定メニューの表示ができません。

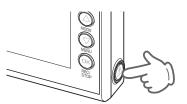
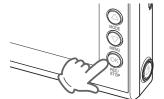
1-2 ▽ボタンを押す

設定メニューを表示します。

・設定メニューの詳細は ☛ P.47 を参照してください。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。
録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

2-1 REC ボタンを押す

動画記録モードを表示し､自動的に録画を開始します。(初期値：自動録画 ON)

・**自動録画を OFF にしている場合・・・**
動画記録モード時に OK ボタンを押すと録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。

※ 設定メニューの表示方法は ☛ P .46 を参照してください。

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
解像度	3M 30FPS	録画の解像度を選択します。 3M：2304 × 1296 1080P：1920 × 1080 720P：1280 × 720 「1080P HD (HDR) 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、Active Safety 機能が有効になります。 ※「1080P HD (HDR) 30FPS」設定時のみ HDR が有効になります。
	1080P HD(HDR) 30FPS(★)	
	1080P HD 30FPS	
	720P 60FPS	
	720P 30FPS	
自動録画	OFF	エンジンキー連動で録画開始の ON/OFF を設定します。
	ON(★)	
音声録音	OFF	音声録音の ON/OFF を設定します。
	ON(★)	
G センサー記録	OFF	G センサー記録を使用するか ON/OFF で設定します。
	ON(★)	
G センサー感度	X：0.5 ～ 4.0G（1.5G ★）	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。 感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	Y：0.5 ～ 4.0G（1.5G ★）	
	Z：0.5 ～ 4.0G（1.5G ★）	
レーンキープアシスト	OFF	レーンキープアシストを使用するか ON/OFF で設定します。 ※ 解像度が「1080P HD (HDR) 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、レーンキープアシストが有効になります。
	ON(★)	
前方衝突防止アラート	OFF	前方衝突防止アラートを使用するか ON/OFF で設定します。 ※ 解像度が「1080P HD (HDR) 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、前方衝突防止アラートが有効になります。
	ON(★)	
AS 設定	—	レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行います。(☛ P.27)

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
上書きモード (☛ P.44)	上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。
	常時録画上書き※1	それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
	全て上書き※1(★)	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
Start information	OFF	Start information を使用するか ON/OFF で設定します。 ※ 解像度が「1080P HD (HDR) 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、Start information が有効になります。
	ON(★)	
日時	−	日付や時刻を設定します。(☛P.49) ※ 手動で設定した場合でも、GPS の日時情報が優先され、変更されます。
音量	OFF ／ 20 ％ ／ 40 ％ ／ 60%／ 80%／ 100%(★)	録画ファイルの再生音量、操作音やブザー音の音量を設定します。 ※ 録画ファイルの再生音量や操作音、ブザー音の音量を個別に設定することはできません。
画面自動オフ	30 秒／ 3 分／ 5 分／常時 ON(★)	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的に OFF します。
SD 初期化	キャンセル	SDカードを初期化(フォーマット)します。(☛P.26) ※ 録画ファイルがすべて削除されます。
	実行	
設定初期化	キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	−	ファームウェアのバージョンを表示します。

※ 1：保護したファイル (☛ P.30「録画ファイルを保護する」) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機　能
△	設定項目を選択したり、値を増加します。
▽	設定項目を選択したり、値を減少します。
OK	選択項目を決定します。
REC	前の画面へ戻ります。

日付 / 時刻を設定する

※ 手動で設定した場合でも、GPS の日付 / 時刻情報が優先され変更されます。
※ 時間は、24 時間表示です。

1. 日付・時刻を設定する

1 - 1 「設定メニュー」で「日時」を選択し、OK ボタンを押す

＜設定メニュー＞

・設定メニューが表示されていない場合・・・
☛ P.46「設定メニューを表示する」

1 - 2 年月日と時分秒を設定する

選択中の項目に▽△マークを表示します。

＜日時設定画面＞

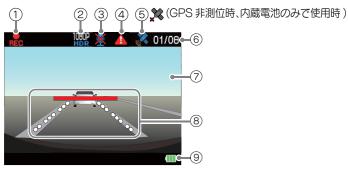
・日時設定画面のボタンの機能

ボタン	機能
△	値が増加します。
▽	値が減少します。
OK	次の項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

1 - 3 REC ボタンを押す

設定メニューへ戻ります。

動画記録モード

動画記録モードでは、ビデオカメラのように連続して動画を記録します。

＜動画記録モード画面＞

No.	表示名	説　明
①	録画アイコン	録画中に表示します。
②	解像度	録画解像度を表示します。(☛ P.47)
③	音声録音 OFF アイコン	音声録音設定が OFF のときに表示します。(☛ P.47)
④	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
⑤	GPS アイコン	GPS の状態をアイコンで表示します。 ※ 内蔵電池のみで使用する場合は GPS 機能が働きません。
⑥	イベント記録件数	現在のイベント記録件数 / 最大記録件数を表示します。
⑦	ファインダー	カメラのファインダーです。
⑧	AS 設定ライン	AS 設定ラインを表示します。(☛ P.27) ※「レーンキープアシスト」と「前方衝突防止アラート」がどちらも OFF の場合は表示しません。 ※ AS 設定ラインは､録画ファイルには録画されません。
⑨	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(☛ P.13)

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機　能
△	録画停止中は、再生モードを表示します。(☛P.59)
▽	録画停止中は、設定メニューを表示します。(☛P.47)
ＯＫ	録画の開始、または停止をします。
ＲＥＣ	録画中に押すと、REC ボタンを押した前後の録画ファイルを 1 ファイルとして、ワンタッチ記録フォルダにコピーします。(☛ P.43「ワンタッチ記録」)

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、G センサーグラフ等を表示できます。

※ 専用ビューアソフトのインストールは ☛ P.34「専用ビューアソフトで再生する」を参照してください。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

＜標準表示＞

＜全画面表示＞

No.	表示名	表示の意味		
①	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。		
②	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
③	ファイル コントロール		1ファイルを開く	録画ファイルを1ファイル開いて再生します。 ※「1ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
			停止	再生中の録画ファイルを停止します。
			再生 / 一時停止	録画ファイルを再生 / 一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
			ウィンドウサイズ切替	映像の全画面表示 / 標準表示を切り替えます。
			静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGファイル)に変換して保存します。
			1フレーム再生	クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。
④	G センサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
⑤	プログラム		最小化	ウィンドウを最小化します。
			最大化 元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
			閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑥	再生リストの操作		ファイルを再生リストへ追加	再生リストに1ファイル追加します。
			ファイルを再生リストから削除	再生リストから1ファイル削除します。 ※ 再生リストから削除してもSDカード内の録画ファイルは削除されません。
			フォルダを再生リストに読込	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑦	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 ※ ファイル名の詳細は ☛ P.54「録画ファイルの読み出しについて」を参照してください。		
⑧	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps)は表示されません。		
⑨	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。 ※ GPSデータがない場合は変化しません。		
⑩	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度(X・Y・Z)を表示します。		

2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトが不要になった場合、以下の方法でパソコンから削除できます。

2-1 スタートメニューの[PC Viewer DRY-TypeE]から、[PC Viewer DRY-TypeE Uninstall]を選択する

2-2 [はい]をクリックする

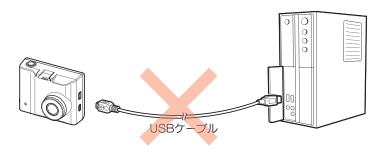
アンインストールを開始します。

2-3 [OK]をクリックする

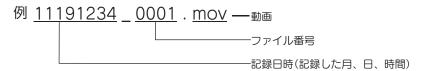
アンインストールが完了します。

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows 7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ：2GB 以上

※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
本機から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

1. SD カードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SD カードをリーダーライターに接続する

1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く

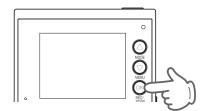
・**常時録画** ･･･
「DCIM」フォルダ→「100MEDIA」フォルダを開いてください。
・**G センサー記録** ･･･
「gsensor」フォルダを開いてください。
・**ワンタッチ記録** ･･･
「recsw」フォルダを開いてください。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする

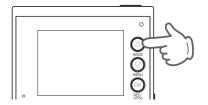
・Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は、OK ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、再生モードを表示できません。

1-2 △ボタンを押す

再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

・フォルダ選択画面とは・・・

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 △▽ボタンを押して、再生したいファイルの記録方法を選択し、OKボタンを押す

ファイル選択画面を表示します。

＜フォルダ選択画面＞

2-2 △▽ボタンを押して、再生したい録画ファイルを選択し、OKボタンを押す

録画ファイルが再生します。
録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。

＜ファイル選択画面＞

＜ファイル再生画面＞

※ ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
REC ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。

※ ファイルが再生できない場合、ファイル選択画面上に ☒ を表示します。

・ひとつ前の画面に戻るには・・・
ファイル選択画面やファイル再生画面時に REC ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

3-1 OK ボタンを押す

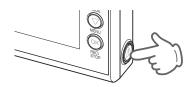
録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。

・操作メニューの詳細は ☛ P.60 を参照してください。

4. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

4-1 REC ボタンを押す

ファイル再生画面を表示します。

・ファイル再生画面とは・・・

4-2 REC ボタンを押す

ファイル選択画面を表示します。

・ファイル選択画面とは・・・

4-3 REC ボタンを押す

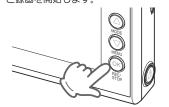
フォルダ選択画面を表示します。

・フォルダ選択画面とは・・・

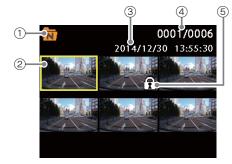
4-4 REC ボタンを押す

動画記録モードを表示し､自動的に録画を開始します。(初期値:自動録画 ON)

・自動録画を OFF にしている場合・・・

動画記録モード時に OK ボタンを押すと録画を開始します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本機上で再生できます。

※ 再生モードの表示方法は ☛ P.56 を参照してください。

<ファイル選択画面>

<ファイル再生画面>

No.	表示名	説　明
①	フォルダアイコン	常時録画フォルダを選択中に表示します。 イベント記録フォルダ(G センサー記録とワンタッチ記録)を選択中に表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを黄色枠で表示します。
③	記録日時	録画した日時を表示します。
④	ページ数	現在のページ / 総ページを表示します。
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。
⑥	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。 再生中に表示します。 早送り中に表示します。 巻戻し中に表示します。 一時停止中に表示します。 X3 ３倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。 X6 ６倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。 X0.5 0.5 倍速の再生・逆再生中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑧	再生時間	現在の再生時間 / ファイル総時間を表示します。
⑨	操作メニュー	録画ファイルを保護 / 保護解除、削除などを行います。(☛P.60「操作メニュー」) ※ 操作メニューは一時停止中に表示します。

再生する

■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動　作	機　能
△	ファイル選択時	前の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	再生速度を切り替えます。(☛ P.60「再生速度の切り替え」)
▽	ファイル選択時	次の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	再生速度を切り替えます。(☛ P.60「再生速度の切り替え」)
OK	ファイル選択時	録画ファイルを再生します。
	ファイル再生時	再生を停止し、操作メニューを表示します。
REC	前の画面へ戻ります。	

■ 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×１倍速)で再生されます。
△ボタンと▽ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。

※ ▶▶は早送り、◀◀は巻き戻し、▶は通常の再生です。
※ 早送り、巻き戻し中は音声が再生されません。

例：３倍速の早送り中の表示 ▶▶×3 00:11/01:00

<ファイル再生画面>

■ 操作メニュー

アイコン	本機ボタン	説　明	
(保護アイコン)	△	保護 / 保護解除	選択中の録画ファイルを保護します。保護したファイルを選択中に押すと、保護解除します。(☛ P.30「録画ファイルを保護する」) ※ 保護した録画ファイルは、本機の「削除」では削除できません。保護を解除するか、SD カードをフォーマットすることで削除できます。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)
(削除アイコン)	▽	削除	選択中の１ファイルを削除します。
(全削除アイコン)	OK	全削除	録画ファイルをすべて削除します。
(戻るアイコン)	REC	戻る	前の画面に戻ります。

保護したファイルで SD カードがいっぱいになると、本機の録画を停止します。
必要に応じて録画ファイルをパソコンにバックアップなどしてから、本機で SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.26「SD カードをフォーマットする」)

故障かな？と思ったら

電源が入らない

☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

<DRY-AS400WGcの場合>
シガープラグの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。

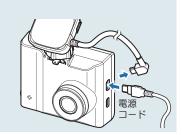
<DRY-AS400WGdの場合>
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。

☐ 充電されていますか。(本体のみで使用のとき)

本体のみで使用する場合は、充電が必要です。本機の充電は、車両と接続するか別売品のACアダプター(OP-E368)で充電することができます。(☛P.13「内蔵電池を充電する」)

☐ 本体に電源が入るかを確認してください。

GPS内蔵ブラケットに差し込んでいる電源コード(シガープラグコードまたは電源直結コード)を本体に直接差し込み、本体の電源が入るかを確認してください。本体に電源が入る場合、GPS内蔵ブラケットの不具合が考えられます。

※電源コードを直接本体に接続しても故障の原因にはなりません。

映像が記録できない

☐ SDカードが正しく挿入されていますか。

☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛P.31)か、SDカードをフォーマットする(☛P.26)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。

保護したファイルには、再生モード(☛P.59)のファイル選択画面上で (保護アイコン) アイコンを表示します。

<ファイル選択画面>

☐ HD out端子にケーブルが接続されていませんか。

イベント記録ファイルが生成されない

☐ **イベント記録中に電源OFFしていませんか。**

イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合がありますが、再度電源ONすると修復されます。
(☛P.43「イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)」)

Start information がうまく働かない

☐ **本機の取り付け位置を確認してください。**

Start informationは、前方の車両を認識してお知らせを行います。前方車両を正しく認識できない位置に本機を設置すると、Start informationがうまく働かない場合があります。(☛P.18)

☐ **解像度を確認してください。**

解像度が「1080P HD (HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効です。
解像度を「3M 30FPS」、「720P 60FPS」、「720P 30FPS」のいずれかに設定した場合、Start informationを「ON」に設定していても、お知らせを行いません。

レーンキープアシストや前方衝突防止アラートがうまく働かない

☐ **AS設定を確認してください。**

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、設定が必要です。「設定メニュー」→「AS設定」から設定を行います。(☛P.27「レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う」)
設定では、本機画面内の白線と道路の白線が重なるように合わせてください。

・良い見本
道路上の白線と本機画面内の白線が重なっている

・悪い見本
道路上の白線と本機画面内の白線がずれている

☐ **解像度を確認してください。**

解像度が「1080P HD(HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効です。
解像度を「3M 30FPS」や「720P 60FPS」「720P 30FPS」のいずれかに設定した場合、レーンキープアシストと前方衝突防止アラートを「ON」に設定していても、お知らせを行いません。

☐ **GPS測位していましたか。**

レーンキープアシストや前方衝突防止アラートは、GPSを測位した状態で機能します。
GPS測位の状態は、画面上部のアイコンで確認できます。

測位しているとき

測位できないとき

■ リセットボタンについて

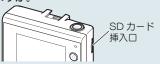
画面が固まって動かない

ボタンを押しても反応しない

こんなときは ➡ **リセットボタンを押して再起動してください。**

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。
※ リセットボタンを押しても SD カードに記録したデータは消えません。

エラー表示一覧

エラーメッセージ	対処方法
SDカードを挿入してください	☐ **SDカードが正しく挿入されていますか。**
SDカードエラー	☐ **SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。** ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：8 ～ 32GB ・SD スピードクラス：Class 10 以上 ☐ **SDカードが正しく挿入されていますか。** ☐ **本機でSDカードをフォーマットしてください。** フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。 (☛P.26「SD カードをフォーマットする」)
SDカードがいっぱいです	☐ **上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。** 上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画が SD カード容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。 (☛P.47「設定メニュー」) ☐ **保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。** 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛P.31)か、SDカードをフォーマットする(☛P.26)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。 保護したファイルには、再生モード(☛P.59)のファイル選択画面上で 🔒 アイコンを表示します。 <ファイル選択画面>

エラーメッセージ	対処方法
イベント領域がいっぱいです	**□ 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。** 上書きモードを「上書き禁止」または「常時録画上書き」に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。 上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(☛P.47「設定メニュー」) **□ 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。** 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛P.31)か、SDカードをフォーマットする(☛P.26)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。 保護したファイルには、再生モード(☛P.59)のファイル選択画面上で 🔒 アイコンを表示します。
SDカードの初期化に失敗しました	**□ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。** ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：8 ～ 32GB ・SD スピードクラス：Class 10 以上 **□ SDカードが正しく挿入されていますか。** **□ 他の機器で認識することができるかを確認してください。** 本機から SD カードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SD カードが認識できるか確認してください。
このファイルは消去できません	**□ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。** 本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。(☛P.54「録画ファイルの読み出しについて」) **□ 本機でSDカードをフォーマットしてください。** フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。 (☛P.26「SD カードをフォーマットする」)

<ファイル選択画面>

SD カード挿入口

設定 04/04
画面自動オフ
SD初期化
設定初期化
バージョン
OK

仕様

電源電圧	本体：DC 5V(DC 12V マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	400 万画素カラー CMOS
視野角※1	レンズ画角：対角 144° 最大記録画角：対角 135°（120°（水平）、68°（垂直）)
モニター	2.0 インチ　フルカラーTFT液晶
記録解像度	300 万画素
画像サイズ	3M (2304×1296)/1080P HD (1920×1080) / 720P (1280×720)
画質	HDR(ハイダイナミックレンジ) ※「解像度：1080P HD (HDR) 30FPS」設定時のみ
録画ファイル構成	常時録画：1 分単位 イベント記録(ワンタッチ記録、G センサー記録)：40 秒単位
記録媒体	microSDカード(8GB同梱)
記録形式	MOV (H.264)
フレームレート	3M：30コマ/秒　1080P HD：30コマ/秒　720P：60,30コマ/秒
動作温度範囲	0℃～+60℃
外形寸法	67(W) × 54(H) × 38(D) mm(突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時97(H)mm(窓ガラス25°想定の場合)
重量	約85g（microSDカード含む)

※1： 解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

1. 同梱品・別売品の購入について

・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに 「ＸＸ(**機種名**)用〇〇(**必要な部品**)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。
詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

microSD カード対応一覧表

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8 ～ 32GB
SD スピードクラス	Class 10 以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	約 220 分	約 260 分	約 280 分	約 280 分	約 560 分
16GB	約 110 分	約 130 分	約 140 分	約 140 分	約 280 分
8GB(同梱品)	約 55 分	約 65 分	約 70 分	約 70 分	約 140 分

・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
・録画時間は、常時録画とイベント記録（Gセンサー記録とワンタッチ記録）の全ての録画時間の合計です。

・お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度 (☛ P.47) により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

microSD カード容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	32 件	32 件	32 件	32 件	32 件
16GB	16 件	16 件	16 件	16 件	16 件
8GB(同梱品)	8 件	8 件	8 件	8 件	8 件

・最大記録件数は、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器
本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
● 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　 **0120-998-036**